

52  
52





◎皇太后陛下御誕辰

(東京) 十年六月廿五日

皇太后陛下には廿五日第五十一回の芽出度き御誕辰を迎へさせられた。此の佳き日陛下にはすがすがしき御洋服にて竹屋典侍、入江大夫以下を従へさせられ午前十一時廿分大宮御所御出門、赤坂離宮に行啓、同卅分西二ノ間に出御、秩父宮同妃兩殿下を始め各皇族方に御對面御祝詞を受けさせられ陶田首相、一木樞相、牧野内府、湯淺宮相以下各國務大臣、親任官同待遇並に宮内官等四百餘名の拜賀を受けさせられたが終つて皇族方には狩ノ間に於て、其他諸員は花鳥間、羽衣の間の大食堂に於て御祝ひの午餐を賜ひ陛下には午后零時二十分頃御機嫌廳はしく還御、御祝膳につかせられた

寫眞は

- 一、お喜びの赤坂離宮
- 一、伺候の陶田首相



雜 5  
52





◎皇后様お目出度き御徴候の報に

「喜び祝ふ赤子の誠心！」

（東京）十年六月二十五日

皇后陛下にはいよいよ御健かに亘らせられ、皇太子殿下を御中心に各内親王様方と共に御睦まじくお過し遊ばされてゐるが、陛下には御目出度き御徴候の御模様を拜し奉る由拜承側近奉仕者は非常に御慶び申上げてゐる、この報傳はるや宮城遙拜の赤子にもお喜びの誠心から遙かに御安泰を祈り奉る者も多かつた

寫眞は

一、赤子の宮城遙拜



雜 52





◎六代目菊五郎の至藝

「鏡獅子」トーキーに踊る

(東京) 十年六月廿六日

六代目菊五郎の至藝「鏡獅子」が日本藝術海外進出の先陣を承つて今曉二時から歌舞伎座の舞臺でトーキーに納つた、國際文化振興會の第一作で副會長徳川頼貞侯、理事黒田伯、岡部子、演出の長谷川時雨女史、外務省の柳澤健氏等、晴れの撮影監督小津安二郎氏など千載に傳ふる一世一代の菊五郎の「お小姓彌生」の絢爛たる舞臺姿に見入る、靜かに廻るクラック、この豪華な大繪卷は午前六時までかゝつて約五千呎を撮影し終へた

寫眞は

一、トーキーに入る菊五郎の「鏡獅子」

(午前六時撮影)



52





◎一千の兒童三分間で避難

―帝都防空豫電演習―

(東京) 十年六月二十六日

二十六日夜横濱、川崎、東京の三市を擧げて行はれる防空演習は全市各防護團五十萬を總動員して大々的に敢行されるが市内各所では夫々防毒防火の演習を行ひ何れも好成績を擧げ殊に下谷小學校に於ける學校防空演習では一千の兒童が三分間に避難を完了、參謀本部西村大佐、松谷校長等の講評を受けた  
寫眞は

下谷小學校の防毒避難

一、下谷小學校の防毒避難



雜 53  
52





◎全國刑事課長會議

(東京) 十年六月廿七日

新刑事政策提唱のもとに警保局が召集した全國刑事課長會議は二十七日午前九時内務省に開會唐澤警保局長、清水防犯課長以下關係官三府四十三縣刑事課長出席、勞頭唐澤警保局長より刑事警察刷新に關して訓示し特に今秋の府縣會議員總選舉に際しての取締方針を強調したるのち指示事項につき協議に入つた

寫眞は

一、唐澤警保局長の訓示



53  
52





◎北支交代兵凱旋

〔東京〕十年六月廿七日

北支駐屯一年、無事大任を果たした東京、佐倉  
甲府、旭川、札幌の部隊勇士〇〇〇名は二十  
七日午前六時五十五分東京驛着凱旋、驛頭に  
は陸軍三長官代理、内山、柴兩大將、各團體  
盛んな出迎へをうけた後宮城前に至り皇居  
を遙拜、靖國神社、明治神宮に參拜をなし佐  
倉部隊は兩國驛發午後一時廿五分、甲府部隊  
は新宿驛發午後零時卅分、札幌部隊は上野發  
午後八時四十五分、旭川部隊は同十時二十分  
それぞれ原隊に晴の凱旋した

寫真は

一、宮城遙拜



53  
52





◎人間以上の軍用犬の實演

(東京) 十年六月廿八日

二十八日午后零時から陸軍省裏庭で帝國軍用犬協會軍用犬の實演が行はれ參謀本部首腦を始め參觀の將校等の舌を卷く様な人間以上の美技の數々を見せた。出場の軍用犬は荒木貞夫大將自慢の名犬「チト」外一犬の東京犬と特に京都から選ばれた京都犬二匹の四旬で實演は傳令又銃の看守警戒、捕虜の護送護衛兵の守護、家屋内の搜查、彈藥の補充、負傷兵の搜查等一つ一つの行動を命令通りにやつてのけ天晴名軍用犬振りを發揮した

寫眞は

一、軍用犬の實演



雜 53  
52





◎新式十手「自動搦手」

―築地署の石原巡査が發明

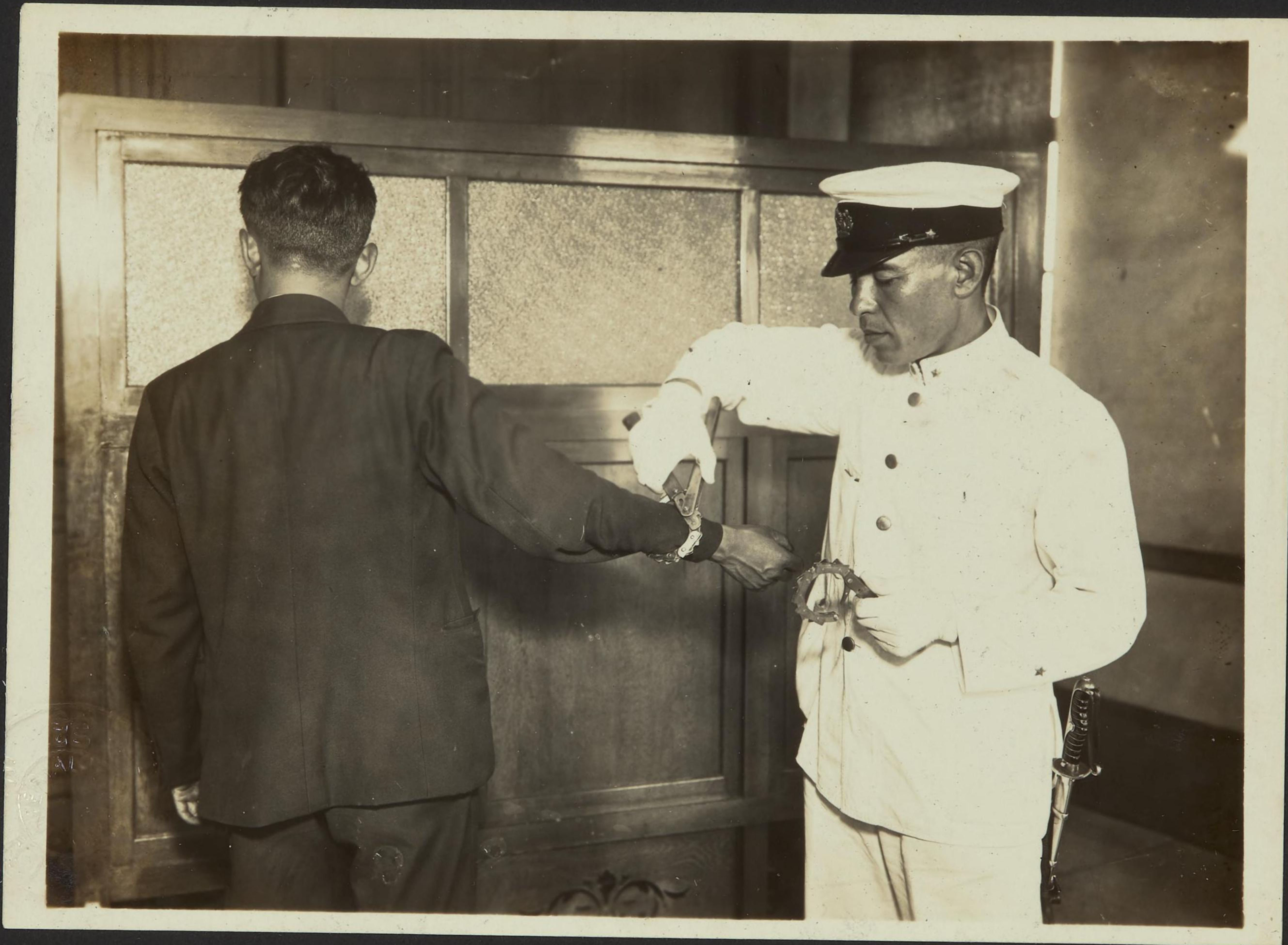
(東京) 十年六月廿八日

築地署明石町派出所勤務の石原資久(四二) 巡査は過去五ケ年間に亘つて自動搦手といふ新形式の十手を苦心研究してゐたところ昨年十月頃研究を完成したのでこれを石原式自動搦手と命名特許を申請中のところ本年四月六日附で許可になつた、同巡査は大正十一年二月警視廳巡査を拜命後常に從來の十手では犯人の捕繩率が悪いのに鑑み十手と捕繩とが一個の道具に具つたものがあれば犯人檢舉の成績を大いに擧げることが出來やうと苦心研究遂に完成したものでこの機械は外見從來の十手と略似たものであるがそのにぎる所にビストルの引金様のものがありそれで犯人の手を打つと同時にこの引金を引けば中から自轉車のチェーン式の捕繩がからみつくやうになつてゐるもので廿八日午後これを警視廳で實驗した

寫眞は  
―自動搦手の實驗



雜53  
52





◎天皇陛下行幸

陸士卒業式舉行

(東京) 十年六月廿九日

陸軍士官學校本科第四十七期生徒三百三十名  
第二十六期中華民國學生十六名及第二期滿洲  
國留學生八名の卒業式は廿九日午前九時三十  
分天皇陛下臨幸の下に同校に於て舉行された  
天皇陛下には便殿にて御少憩の後御乘馬にて  
觀兵式々場にて卒業生三百五十四名の壯烈な  
る分列式をみそなはせられ、終つて一旦便殿  
に入御御少憩の後同校々庭式場に臨御優等卒  
業學生の御前講演等を御覽遊ばされ、次いで  
卒業證書授與式場に臨御、午前十一時五十分  
「君ヲ代」奏樂諸員奉送裡に龍顏殊の外麗し  
く還幸遊ばされた

寫眞は

一、觀兵式場の天皇陛下

一、御卒業の溥儀(前列左端) 潤麒(後列左  
端)氏

一、便殿卒業生(向つて左から) (近歩一)

- 小村去二△步六聯隊(名古屋) 山本要△大
- 四八聯隊(久留米) 戸橋金次郎△聯隊
- (大阪) 松崎正臣△砲二二聯隊(京都)
- 木忠男△砲五聯隊(小倉) 小砂文人△工
- 大隊(熊本) 秀島正三△飛五聯隊(立川)
- 川原幸助△砲二大隊(偵合) 倉田



新 53  
52









雜 53  
52





◎「日本はい、ですね」

―新任謝介石大使の朝―

（東京）十年六月三十日

「お早よう」新任謝介石大使は目をこすりながら涼しさうな支那服でベランダへ現れた。昨夜ホテルからこの麻布櫻田町の大使館へのお引越して午前三時まで急がしかつたのだといふ。

「ガタビシとね」大げさに手を振つて見せるが圓らかな眼、艶々しい顔、五十七とはとても受取れない姿だ。

「いや、五十四才まではもつと羨も黒かつたのですが建國の時に心配したり怖かつたりしたので急にこんなになつたのですよ、早いです、一べんです」

一寸キザに聞えさうなこんな言葉もつるりと頭を撫で乍ら重顔をほほして云はれると素直に受取る氣持になる。「快い魅力のある人だ、また眼をこすつた」

「わたしは無理をしないんで睡るのも食べるのも一切不規則です、だから早く起きたり遅かつたり、一日に一度しか食べなかつたり、時間生活といふものは大嫌ひ、公式の時間づくめが一番辛いです」

この邊に大陸的な野人ぶりが顔を出す。日本は良いですね、何處へ行つても青々として、此處も新京の公園以上だから妻の身体にもきつと良いでせう。

寫眞は 一、新任日大使（大使官邸にて）



新53  
52





◎小泉八雲の銅像  
晩翠氏の床しい事業成る

夜明けの日本の文化的礎石を築上げた文豪ラフカティオ・ヘルン（小泉八雲）の浮彫が今秋日希協會によつて帝大圖書館に掲げられるがこれは詩人晩翠の遺ける愛兒の床しい遺言が實を結んで上野の帝國圖書館玄関前に銅像となり來る七月一日午前十時から盛大な除幕式があげられる

土井晩翠氏の長男英一君は東北帝大法文學部在學中一昨年廿五歳で夭折した、その後同君の篋底からヘルンへの思慕の情を籠めた一通の遺書を發見した父晩翠は愛兒の優しい心に報いるべくこの由を直に教へ子である帝國圖書館長松本喜一氏に傳へて一切を依頼し彫刻家小倉右一郎氏の手によつて完成したものである

像は喜石とともに高さ一丈餘、鹽谷温、市川三喜兩博士の選書とともに建像白來記が認められてある、廿九日仙臺から上京した晩翠氏夫妻は

見事な出來榮えの八雲先生像に作もさぞかし満足することとせうと完成の喜びと亡き兒への愛惜に眼をうるませてる

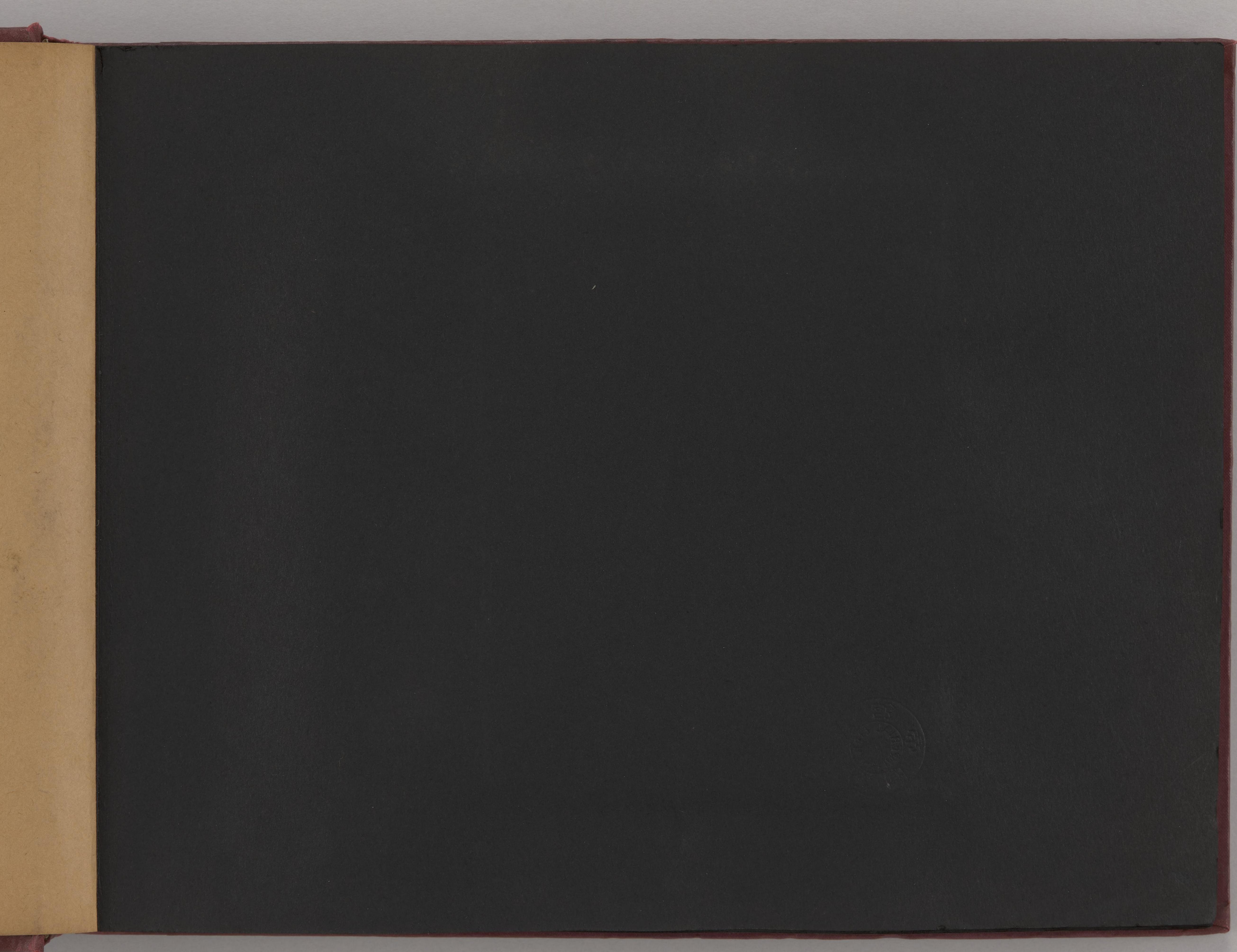
一、寫眞は銅像



雜53  
52



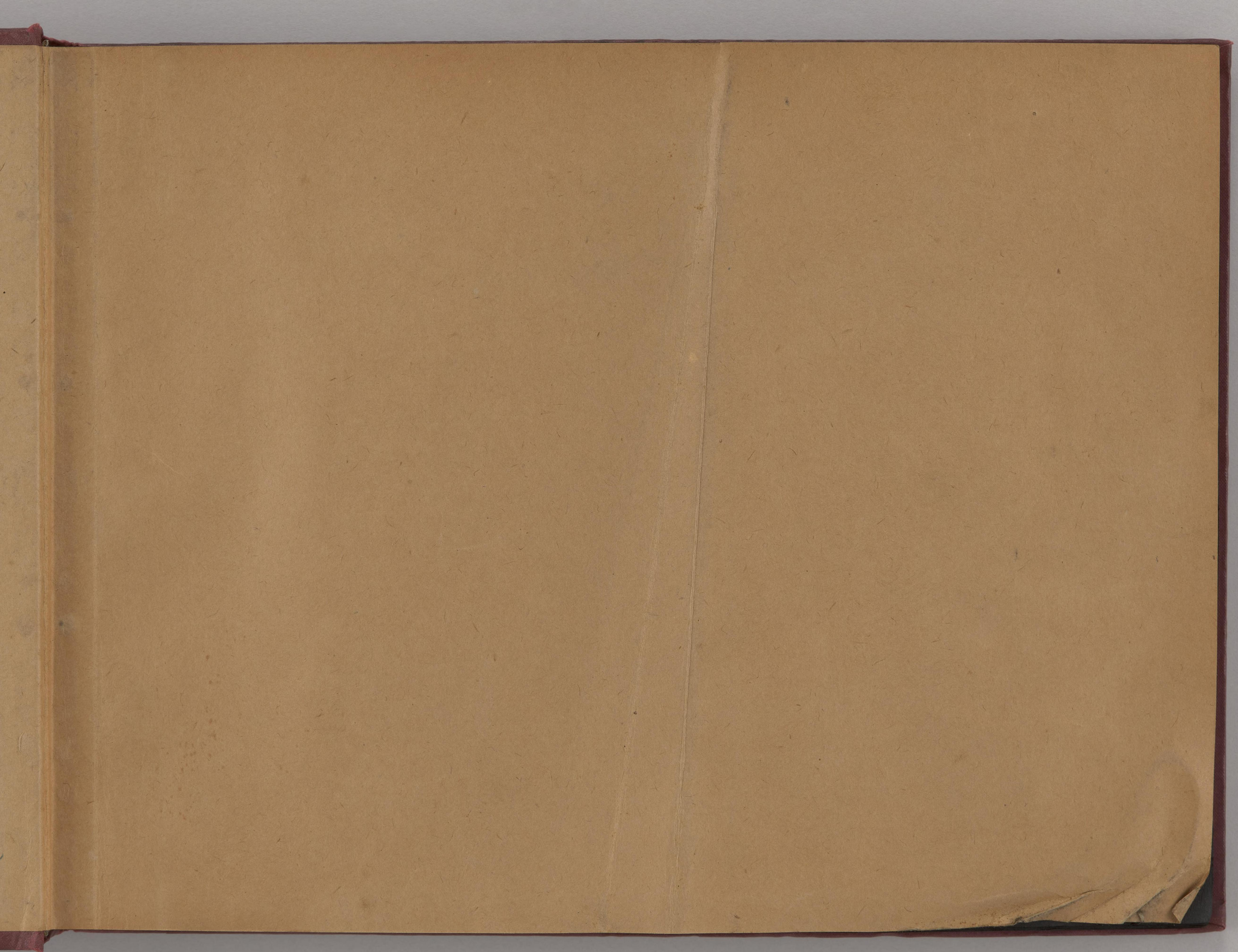






雜53  
52

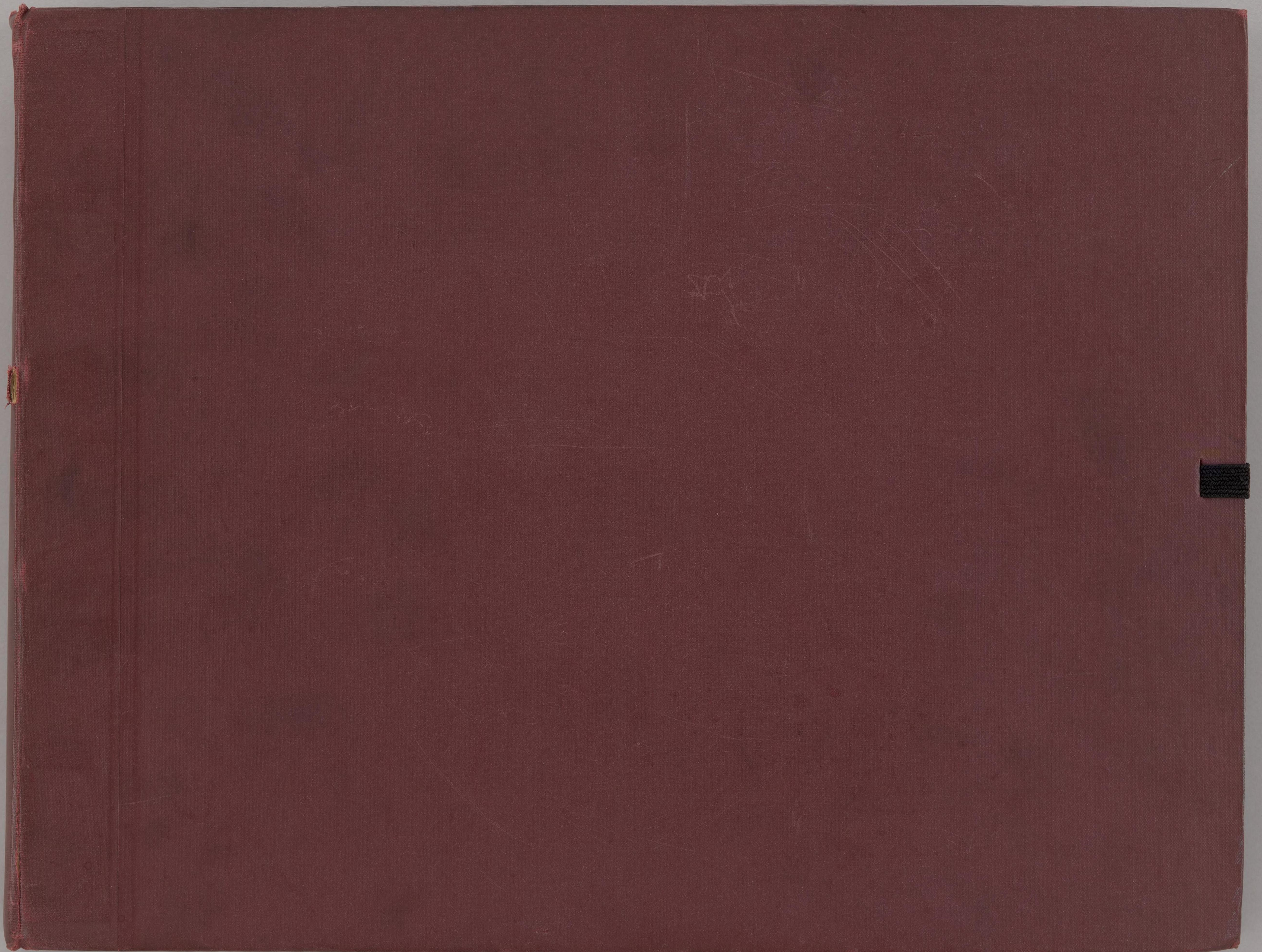






雜53  
52





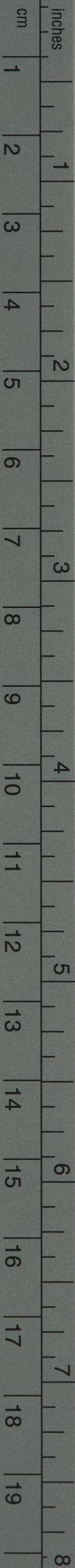


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

